

写

令和2年5月20日

文部科学大臣

萩生田 光一 様

一般社団法人 公立大学協会

会長 鬼頭 宏



経済的に困窮する学生への緊急支援に関する要望

新型コロナウイルス感染症の全国的な広がりの中で、多くの学生が経済的困窮に陥っています。また、日本学生支援機構の調査結果はかねてより、公立大学生の家庭における経済的環境が相対的に厳しい状況にあることを示しており、各公立大学では学生の置かれた状況への懸念を深めるとともに、対応を模索しています。

そうした中、5月19日、国は経済的に困窮する学生に対し給付金による支援策を決定しました。さらに、授業料減免を通じた緊急支援が、第2次補正予算において準備されようとしています。これらの対応は、困窮するすべての学生が待ち望む緊急的な支援であり、通常の制度的な枠組みの違いによって取り残される学生があってはなりません。

第2次補正等、今後の国による緊急支援については、大学の設置形態を問うことなく、学生に対し確実に届くよう強く要望いたします。

以 上